

4. スマホ、パソコン、ゲーム機を使わせるときに気をつけたいこと

携帯電話やスマートフォンなどの情報化の進展に伴い、インターネット上の有害情報などが子どもにおよぼす悪影響等から子どもを守ることは、緊急に対応を要する重要課題となっています。これまで、ケータイ・スマホ・インターネットによる犯罪の対象となるのは中学生以上と考えられていましたが、最近急速に小学生への広がりが見られ、小学生が被害者となるだけでなく、ネットを使った「いじめ」などの加害者になるケースもあるなど、様々な形で広く大きな問題となってきました。ケータイ・スマホ・インターネット・ゲーム機等の利用にあたっては、その危険性をしっかり理解して使用しなければならず、特に小学生の利用にあたっては、保護者一人ひとりの責任ある判断や指導が欠かせません。



インターネット上の世界には、子どもたちにとって役立つ情報がたくさんある一方で、暴力的な表現やアダルト画像といった悪影響を及ぼす有害な情報も数多く存在します。また、メールやインターネット掲示板、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などのコミュニティサイトについても利用方法を誤りますと、自分が気付かないうちに見知らぬ人に個人情報を知られてしまうなど、様々なトラブルが起きる危険があります。

また、ネット依存により睡眠や食事など日常生活に支障をきたすなど、ネット依存の問題も大きく取り上げられるようになりました。

ポイント1 子どもに携帯電話やスマートフォンを持たせるときは目的を明確に

ポイント2 有害情報へのアクセスを制限するフィルタリングの活用

※フィルタリングとは・・・

フィルタリングとは、子どもに見せるのが好ましくないインターネット上の有害サイトを一定の基準で判別し、閲覧を制限するサービスです。

ポイント3 親子で話し合っ、家庭でのルール作りを